

# 発刊によせて

区民の皆様には、日頃より区政の推進に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

旭区は昭和44年に誕生し、現在人口25万人を超える市内で5番目の大規模区となっています。

旭区では「区民満足度の向上」と「区民との協働によるまちづくり」を進めていくため、「地域防犯力・防災力の強化」「支え合いによる地域福祉」「子育て支援など次世代の育成」「区民活動やまちづくりの支援」「区役所サービスの質の向上」を重点課題として区政運営に取り組んでまいります。

この小冊子は、各種統計資料を中心にグラフ・図表等を用いて旭区の現況を紹介したものです。旭区の現在を知り、ともに考えていくための資料としてご活用いただければ幸いです。

最後になりますが、刊行にあたり貴重な資料をご提供いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。

旭区長 岸本 孝男

## 旭区の名所・旧跡

### 八幡神社

川井宿町66 バス停横町下車5分  
後三年の役のとき（1086年～1088年）八幡太郎義家が奥羽清原武衝誅伐の際、この地に守本尊を祭り戦勝を祈願し、勝利のお礼に社を建立した。

### 内藤鳴雪の句碑

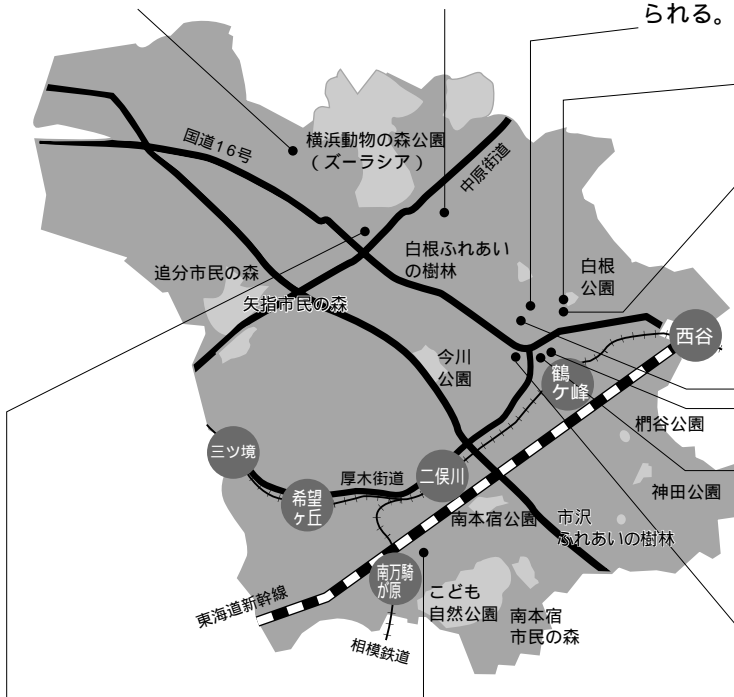
上白根町221 バス停辻下車3分  
明治の俳人内藤鳴雪が境内の夫婦松を読んだ「夫は夫たり、婦は婦たりてぞ、松涼し」の句碑が稲荷社の境内に建立されている。

### 駕籠塚

鶴ヶ峰本町二丁目39  
鶴ヶ峰駅下車15分  
畠山重忠の内室が、重忠の急を聞いて駆けつけたが、この地まで来て討死したことを知り、自害。駕籠ごと葬られたと伝えられる。

### 白根不動・白根神社

白根三丁目26及び31  
バス停白根不動入口下車10分または代官前下車2分  
本尊不動明王は、弘法大師の作と伝えられている（1寸7分=5cmの座像）。源義家が、前九年の役の時、この座像を甲の中に納め、出陣し、大勝を得、康平6年（1063）鎌倉権五郎景政に命じて伽藍を建立した。その後、新田義貞の兵火（1333）により焼失したが、江戸時代（1694）に再建。白根神社の祭神は日本武尊。境内を中堀川が流れ、幅9.1m、落差5.5mの大滝が白糸の滝と呼ばれている。また、谷間より流れ出る小滝があり、石の不動明王が安置されている。



### 万葉集「防人の歌」歌碑

白根三丁目31 バス停代官前下車2分  
都筑の地から防人として九州沿岸警備に派遣される万葉人とその妻の歌碑が、旭区の昔を偲び、白糸の滝のそばに立てられている。

### 六ツ塚・霊堂

鶴ヶ峰本町二丁目14-1  
バス停薬王寺入口下車8分  
畠山重忠はじめ一族郎党134騎を6ヶ所に分けて埋葬した墓といわれ、薬王寺の境内にある。

### 首塚

鶴ヶ峰一丁目3 鶴ヶ峰駅下車7分  
重忠の首を斬った所と伝えられる。

### 首洗い井戸・鎧の渡し

鶴ヶ峰一丁目3 鶴ヶ峰駅下車7分  
重忠の首を洗い清めた井戸。以前は帷子川の河原にあった。現在橋がかかっているが、昔は川幅も広く舟で渡っていた。鎌倉街道から見て重要な渡し場。こしっば（越し場）ともいう。

### 都筑郡役所跡

都岡町72  
バス停都岡辻下車5分  
明治11年12月2日に都筑郡役所がこの地に設置された。（その後、川和に移された）

### 畠山重忠公遺烈碑

万騎が原39 バス停万騎が原住宅入口下車1分  
明治25年10月、土地の有志57人により建立。万騎が原は、古くは「牧が原」といい、平安時代に牧場を開いていたというが、鎌倉時代、北条氏が一万騎余り陣をかまえたので、それからこの字を当てるようになったと伝えられる。

### 畠山重忠公碑

鶴ヶ峰本町一丁目1  
鶴ヶ峰駅下車8分  
畠山重忠の没後750年を迎えた昭和30年6月22日、地元並びに畠山村の有志により建立された。

